

—スタッフ—

役 職	スタッフ名
部 長	碓田 猛真
医 長	中原 啓
医 長	夜陣 真司
医 員	近藤 俊輔
診療局参与	榎本 雅夫
言語聴覚士	間 三千夫
医療事務作業補助員	萬野 まさみ

—概要—

平成24年度から琉球大学より近藤俊輔医師が着任、更に11月から草津総合病院より夜陣真司医長が着任した。碓田猛真部長、中原啓医長と合わせて4名が常勤医師となった。また後期研修医として宝上竜也が1年間、大島遙が3ヶ月間配属され研修を行った。榎本雅夫参与は引き続き週1回の勤務で外来及び手術を担当した。

当科は大阪府最南端の耳鼻咽喉科医常勤施設であり、岸和田・泉北地域を含めた泉州医療圏全体でも耳鼻科医常勤施設は当センターと市立岸和田市民病院だけである。それだけに地域におけるEnd-Hospitalとしての役割を担う責任を負っている。

外来は週5日とも2診体制である。特殊外来として水曜日午後(第4週を除く)に超音波外来を開設し、頸部のECHO検査および細胞診を行っている。主に甲状腺疾患が中心だが、唾液腺疾患や頭頸部癌患者のfollowもを行っている。

本年度から間を中心として聴覚言語外来を正式に発足させた。月水金の午後は主に補聴器適合を行い、それ以外の時間は小児難聴、人工内耳、音声言語障害などを扱っている。また発達障害児の訓練も行っている。いずれも個々の患者の診療が長時間に及ぶため完全予約制としている。

開設当初より我々は南泉州地域の頭頸部癌診療拠点を目指して活動している。「がん薬物療法専門医」である碓田を中心に放射線化学療法を主体とした臓器温存型の治療や再発癌に対するsecond-lineの化学療法を行い良好な成績を得ている一方で、進行癌に対する拡大手術にも対応している。

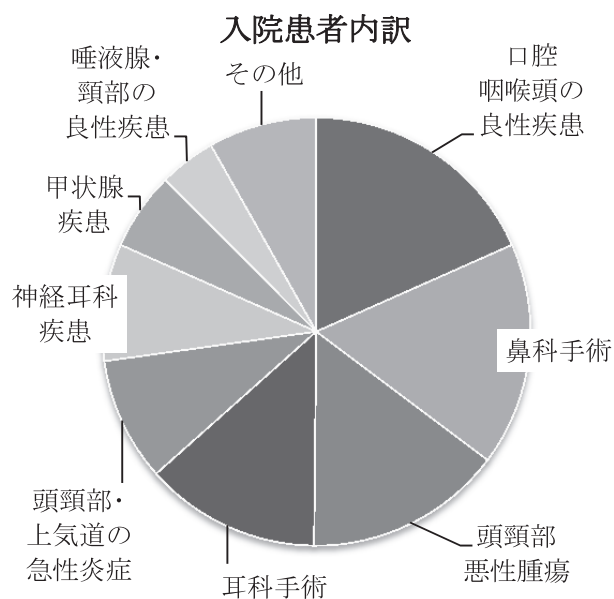
引き続き日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設、日本アレルギー学会認定教育施設に指定されている。また大阪府耳鼻咽喉科医会の要請を受け耳鼻咽喉科二次後送病院ローテーションに参加し、耳鼻科疾患の時間外二次救

急患者受入に対応している。実際に搬送されるのは年に数件だが、泉州医療圏の後送施設は当科のみであり地域医療における重責を負っている。更に泉佐野泉南耳鼻咽喉科医会と連繫し土曜日や時間外の救急患者受け入れも行っている。

—実績—

2012年4月から2013年3月までの新規入院患者数は609名、平均在院日数は11.8日、1日当たりの平均入院患者数は20.7名であった。

入院患者の疾患別内訳は、口腔咽喉頭の良性疾患：18.4%、鼻科手術：16.9%、頭頸部悪性腫瘍：14.9%、耳科手術：13.3%、頭頸部・上気道の急性炎症：9.3%、神経耳科疾患：8.9%、甲状腺疾患(悪性腫瘍を含む)：5.9%、唾液腺・頸部の良性疾患：4.3%、その他：8.1%である。



同期間の外来患者延べ数は16,050名、1日平均外来患者数は65.5名であった。うち初診は平均8.9名で13.6%、初診患者に占める院外紹介患者の割合は27.4%であった。

平成20年4月に現体制が発足して以来5年間の総件数は鼓室形成術:289側、人工内耳埋込手術:33側、内視鏡下鼻内副鼻腔手術:476側である。

2012年度の手術実績を下記に示す。当科は耳科手術、鼻科手術の割合が高く、これは府下でも有数の実績である。一方で頭頸部癌に対しては放射線化学療法を主体とした治療を行っているため癌手術はやや少ない傾向にある。

手術実績（2012.4～2013.3）

耳科手術	
鼓室形成術・鼓膜形成術	51
外耳道形成術	3
顔面神経減圧手術	4
人工内耳埋込手術	10
耳瘻孔摘出術	9
鼓膜切開術	101
鼓膜チューブ挿入術	79
その他	10
小計	267
鼻科手術	
内視鏡下鼻内副鼻腔手術	125
鼻中隔矯正術	84
鼻甲介切除術・粘膜下鼻甲介切除術	86
鼻茸切除術	3
鼻腔粘膜焼灼術	3
鼻骨骨折整復術	10
その他	10
小計	321
口腔咽喉頭手術	
口蓋扁桃摘出術・アデノイド切除術	109
口腔・咽頭膿瘍切開術	37
軟口蓋形成術	1
唾石摘出術	6
直達鏡下喉頭微細手術	48
喉頭形成手術	7
舌口腔咽頭良性腫瘍手術	16
小計	224

頭頸部手術	
甲状腺良性疾患手術	23
耳下腺良性疾患手術	20
顎下腺良性疾患手術	4
頸部良性腫瘍手術	13
気管切開術	5
嚥下改善手術	2
リンパ節摘出術	9
頭頸部形成外科手術	10
小計	86
悪性腫瘍手術	
聴器悪性腫瘍手術	0
鼻副鼻腔悪性腫瘍手術	2
口腔中咽頭悪性腫瘍手術	1
喉頭下咽頭悪性腫瘍手術	3
甲状腺悪性腫瘍手術	17
頸部郭清術	16
その他	4
小計	43
耳鼻咽喉異物摘出術	38
その他	45
総計	1,024